



イルカ通信

隔月1回発行
バックナンバーは無料でダウンロードできます
(下記参照)

2007年10月1日 No. 020

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA)



小笠原で暮らすイルカたち



「嫁島のイルカ」

イルカ調査隊でミカワと呼んでいるイルカ(個体識別番号#173)は、これまでの調査で嫁島周辺でしか確認されていません。ミカワは、昨年の秋に親離れをした若いメスのイルカで、今年7月に観察したときには大人になると体に現れるまだら模様が始まっています。

小笠原のミナミハンドウイルカは聳島列島から母島列島の間を移動する個体がいることが確認されていますが、このように限られた範囲でしか確認されていないイルカもいます。ミカワは私たちが気がつかないうちにこっそりと父島や母島に来たことがあるのかも知れませんが、イルカたちは個体によって海域の利用の仕方に違いがあるのかも知れません。



「イルカの兄弟」

イルカ通信NO.19で、ミナミハンドウイルカの兄弟がずっと一緒にいることはないと紹介しましたが、たまには一緒にいることもあるようです。

今年の9月12日の調査で個体識別番号#70と#136が同じ群で見つかりました。この2頭は親子なのですが、1~2年前から離れて生活するようになり、お母さんイルカの#70は昨年11月に新しい子供を連れているところが母島で確認されています。イルカ調査隊では今回始めて、兄弟とわかっているイルカが同じ群でいるところを確認しました。

小笠原のミナミハンドウイルカは緩やかな結びつきの群を作っていると考えられており、ときには兄弟のご対面もあるようです。



くちばしの一部が特徴的なミカワ



イルカのこともっと知りたい! その1



お腹にくっついてるコシな〜に?

イルカを観察していると、体のあちこちにくっつけているこの生き物をよく見かけます。

これな〜んだ?

Q・①イルカの赤ちゃん ②コバンザメ ③ハゼ



A・②コバンザメ

コバンザメは頭の吸盤でイルカの体にくっつき、イルカの食べこぼしをえさにして生きています。イルカにとっては何もいいことな〜し。



小笠原ホエールウォッチング協会
〒100-2101 東京都小笠原村父島宇東町

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>
Tel 04998-2-3215 e-mail owa@h6.dion.ne.jp

